

舞台は世界だ!

Go! Global

KANTO GAKUIN MUTSUURA JUNIOR&SENIOR HIGH SCHOOL

2019 KGM
グローバル人材
育成プログラム
レポート Vol.16
〈July.2019〉

亞洲
大熱
門!

ますます進むグローバル化は、加速するボーダーレス化とも言えます。中高一貫校での6年間は、入学から10年後、さらには20年後の社会を見据えて準備する大切な時と場です。ボーダーレスに向かう社会を早期に意識し体験する学習環境づくり。関東学院六浦は60周年を迎えた今、「若く純粋な想いを道へ.....将来を世界に繋ぐこと」が新たな使命と考えています。

熱い台湾！ 行ってきました

一行は空路台北へ。台北は政治や経済、文化、物流の中心地として台湾最大の都市です。高層ビルが立ち並んでいる表通りは、車やバイクが激しく行き交っており、通りの人々の声にも活気があふれています。そんな台北にある“桃園市立嘉山高級中學”では「ロボット赤ちゃん課程（子育て模擬体験）」「幸せのお菓子（手作りバイク講座）」などの授業体験や台日交流講座（英語と日本語の言語交流と日本文化紹介）、バディの家庭へのホームステイで台日文化の違いを肌で感じるなど、熱気あふれる台湾の一端を垣間見ました。

必要なこと

私は今回、研修で台湾に行ってコミュニケーションをとろうとする意識がもっと高ければと思いました。

私は今回が初の海外経験で私自身、人見知りや酷いのに加え、英語も得意ではなかったので、2日間の学校訪問とホームステイに対して不安感が強かったです。しかし、ステイ先の子はあまりしゃべらない私に対して日本語で話しかけてくれたり、翻訳機を使用してコミュニケーションをとろうとしてくれました。そこで、自分の意識が低いことを感じていましたが、国外に出て母国語がすぐに通じないことによって意識を強く変えなければならないと考えさせられました。

今回私が考えさせられたことは、台湾に行ったから考えさせられたわけではないかもしれませんが、親日国家と言われ、日本と近いものがある台湾へ行くことで、違う視点から日本をみたり、関わったりすることでこれからの自分に必要なものを得やすいように感じられました。

5年生 S.G



成長したこと

私は去年の12月に台湾研修に参加しました。その時は中3:2人 高1:3人 高2:1人でいきました。

私たちはいろいろなことを台湾で経験できました。日本で決して出来ないようなこともありました。その中で私が一番印象に残っているのは台湾の学校に行ってからそのままホームステイを初めて経験出来たことです。私は日本でも友達の家などに泊まりに行ったことがなくとても新鮮な感覚でした。その上私は人見知りや初めての人とはあまり喋れない傾向がありました。でもホームステイ先のファミリーは私が困らないように日本語で話してくれ、英語が苦手な私でもすぐ打ち解けることができました。そのおかげで少し人見知りが解消されたのではないかと思います。私は日本人とも初対面だと上手く喋ることができずにいましたが、台湾に行った後は日本人の初対面の人にも道案内をできるようになりました。

この研修は私を変化させるきっかけくれた大切な一週間でした。他国の言葉ができなくても友達を作れることを初めて知りました。でもやはり自然と話せる環境も大切だと考えさせられました。私はこれをきっかけに多くの人と関わりたいと思いました。

4年生 N.W



人と人との繋がり

最初、英語ができない私は海外に行くことに抵抗がありました。でも、行ってみたらどの人も友好的な人ばかりで、日本から来た私達を歓迎してくれ学校見学も授業体験も楽しかったです。そして、研修のメインのホームステイは説明会のときから緊張していましたが、ペアはすごくいい人で、英語がわからない私に頑張ってくれやすくて喋ってくれるなど、何回も助けられてしまいました。一緒にショッピングに行ったのがすごく楽しかったのを覚えています。しかし、すぐ仲良くなれたのは良かったのですが、その分別れるときはとても悲しかったです。この研修で海外の人との交流が多かったので自然に英語に触れることができました。

4年生 H.F



海外の大学に進学して

私は高校2年生の時、台湾の大学へ正規留学することを決断しました。そして台湾に来てからもうすぐ4年目を迎えます。海外の大学で勉強することは決して簡単で楽しいことばかりではありません。しかし、現地の学生と同じ環境で学ぶことによって、より高度な語学力を身につけられるだけでなく、多国籍の多くの友達ができ、異文化を知ることもできます。私はこれまでの留学生活を経て、今後は観光業界で台湾と日本をつなぐ架け橋になりたいという目標を持つようになりました。その目標に近づくため、1年前から日台交流サークルの幹部を務め、日本人と台湾人が一緒に楽しめるイベントを企画することに力を入れて頑張っています。これから進路を考える後輩の皆さんも、たくさんある進路の中から自分が納得できるものを選んでみてください。

2015年度卒業 風間 日香理

GLE コース参加者に課せられる Study Abroad Programs に 3 年次の SELF START プログラム (Pre-GLE) で参加することもできます。1 月 13 日から 3 月 9 日までの 8 Weeks における目的の一つは、“言いたいこと”と“実際に言えること”との間にあるギャップを経験し、それを効果的に言語習得へつなげること。参加した生徒 4 人は、1 日 7 時間英語漬けの日々を送りつつ、その成果を 3 回の現地の高校生との交流会で実践し、成長を自ら感じ取ってきました。

「フィリピンの公立学校を訪問して、僕が一番感じたことは根本的な文化の違いでした。なぜそう感じたのかというと、まず人間的な違い、テンションの高さや積極的なところからそう思いました。彼らはオープンな雰囲気です。接してくれるのに自分は少し殻に閉じこもっているように思えて途中で何か吹っ切れたような気がしました。

I went to a public school in the Philippines. What I felt most was the difference between people. Because they are so energetic and active. They are kind to me. but I'm a little nervous and little shy.」

(1 月 16 日第 1 回交流会を経て) H.R

「セブに来て自分が変わったと思うことは、外国の人と英語で話すときに自信が大きくなったところだと思います。なぜなら速い会話のやり取りの積み重ねで聞かれていることに対し、的確かつ簡潔に答えることができるようになってきました。残りの 1 ヶ月で発音を良くしたいです。

I think a change in Cebu is that I have a lot of confidence. when I speak in English with a foreigner. Because it is becoming possible to answer precisely and concisely to what is being heard by the accumulation of fast conversation exchanges. I want to improve my pronunciation in the remaining month.」

(1 か月経過して) S.M

「交流会の前の週にゲームを考えました。ただの伝言ゲームで楽しんでもらえるか不安でしたが、とても楽しんでくれたので良かったです。また、スナックタイムでは簡単な会話で過ごして、簡単な文でもしっかりコミュニケーションできるんだと実感しました。

We thought of a game in the week before the school exchange meeting. We did message relay. When I went to school, I was worried that can they enjoy the game. But they said to us "this game is very fun", so we

セブ島 語学研修

8weeks

could enjoy too. After the game, we had snack time. During snack time, I could have communication with simple sentences. I realized that if I communicate with simple sentences, conversation can connect.」

(2 月 23 日第 2 回交流会を経て) H.T

「今回家族について話をしました。現地の子供達の暮らしや家族についてどう思っているのか聞くことができました。生徒の中にはあまり裕福とはいえない状況で生活し、大変なものにも関わらず、計 3 回自分たちを笑顔でむかえてフレンドリーに話しかけて

オルティガスへ



2014 年度に始まったセブ島での語学研修は、本年度よりフィリピンルソン島のオルティガスへ場所を移して実施します。オルティガスは、世界的に有名な企業や銀行などがひしめき合うマニラ屈指のビジネス街で、経済特区エリアです。乗り合いタクシーやジブニーの乗り入れも規制されている地域です。また、マニラにはフィリピンのトップ大学の 7 つが集中していて、優秀な講師の方々が集まりやすい地域でもあります。そんなオルティガスの 8Weeks で学んでみませんか。

もらいました。2 年前にも DAREDEMO HERO に行きましたが、この二年間 SDGs を勉強し、前回とは違う視点で感じるものがありました。

We talked about our family. I can hear what the students think about local living and their family. Some students are hard living now but, I asked them to speak friendly with a smile all three times in total. I went to DAREDEMO HERO two years ago but I studied SDGs when I was two grade so, I can found something different point.」

(3 月 6 日第 3 回交流会を経て) Y.S



ベトナムからの編入生紹介



「私は Duc(ドゥック)と申します。16 才です。ベトナムから来ました。IT のことが大好きですから、IT を専門に勉強したいです。日本は IT について世界の TOP だと思うので、日本の IT 専門の大学に入ることが私の夢になりました。そのために、関東学院六浦高等学校で勉強していきます。」

NGO HUY DUC(ゴフイ ドゥック)さん

「初めまして。私はミーと申します。前はベトナムにある日本の学校で見学したことがあ

ります。日本人の学生たちが何でも一生懸命にやると思っていて、感動しました。それから、日本に留学することは私の夢になりました。

私は、将来ファッション関係の仕事をしたいです。自分のブランドを持って経営したいと思っています。

関東学院六浦高等学校に来て本当にうれしいです。これからも頑張りたいと思います。どうぞよろしく願います。」

LE HA MY(レハ ミー)さん

「私はガーと申します。ベトナムから来ました。私は昔から日本に興味をもっていて、日本語の勉強を始めました。私は旅行で何度も日本に来ました。旅行でいろんなところに行って、人に会ってから日本のことがもっと好きになりました。その後、私は日本に留学してみたいと思いました。

関東学院六浦高等学校で、頑張りたいと思います。どうぞよろしく願います。」

DINH HANG NGA(ディンハン ガー)さん

「はじめまして。私はウェンと申します。16 才です。ベトナムから来ました。

私は異なる文化をたくさん学びたいです。それで、みんなにベトナムの文化を知らせたり、異文化を勉強したいと思います。

日本へ留学できました。日本の教育システムは世界の中で、非常にいいと考えます。

社会に役立つ人に成長できるように精神を養うことに集中していきます。

どうぞよろしく願います。」

NGOVU KHANH UYEN(ゴヴカンウエン)さん

留学生とのお別れ

ドイツ、フランス、メキシコから来ていた3人の留学生が帰国しました。3人は日本という異国で文化や言語を熱心に学んでいて、近くで見えていた私たちはとても影響されました。友達への接し方や言葉の表現の仕方などでさえも日本とは違って私たちが日本にしながら異国についてたくさん学ぶことが出来ました。3人と過ごした時間は、日本の高校生活では経験できないようなことばかりでした。異国から来た3人は色々なことに気づかせてくれました。最高の友達です。この経験は絶対に忘れません。

5年生女子 TS DS



校長先生のメッセージ

5月の末にマレーシアを訪問。目的は、留学プログラム提携先のインターナショナル・スクールでの会議でした。生徒と話をすることがありました。少しはにかんではいるものの、目を輝かせての流暢な英語。世界で活躍したい、日本にも行きたい、国の発展に役だちたい...。ASEANの生徒との会話でいつも感じるのは、国や社会の「伸びしろ」が目的意識の中にしっかりとフォーカスされているということです。一方、日本の生徒たち。豊かに完成された社会の中に育ち、自分が目指したいものを社会に絡めて語るのなかなか難しい、という特徴を感じます。そして、外国に滞在してはじめて「言語習得の必要を知った」という異口同音の感想が漏れ聞こえるのも特徴でしょう。このレベルを何としても超えさせたい。日本を取り巻く世界は異文化理解だとか言語の壁だ...云々などはすでになく、ボーダーはどんどん低くなっているからです。ボーダーの低さに「気づく」、そして未来への道を考える。Go! Globalはそのためのプロセスです。

(黒畑勝男 2014年入職就任)

最新情報はこちらから



学校公式サイト
<https://www.kgm.ed.jp/>



Instagram

https://www.instagram.com/kanto_gakuin_mutsuura/



facebook

<https://www.facebook.com/kantogakuinmutsuura.jsh/>



関東学院六浦中学校・高等学校

〒236-8504 神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-50-1
TEL:045-781-2525 URL: <http://www.kgm.ed.jp/>